



済美

学校の教育目標

心身ともに健康で、個性豊かに
自ら学ぶ子供を育てる

子供たちの成長

校長 大坂 由喜子

子供たち手作りの日めくりカレンダーが、5年生教室にも掲示され、最高学年になるといって意気込みと決意が感じられます。6年生を送る会の成功が5年生の子供たちの気持ちを一つにし、みんなで協力することの大切さやみんなのためにがんばることの充実感や満足感を感じたことと思います。6年生は中学校に向けて、1年生から4年生は進級に向けて希望が膨らんでいる今日この頃です。

さて、子供に「校長先生は小学校の時にどんな子供だったの」と聞かれました。保育所の頃は人見知りがすごくて、母親はみんなに溶け込めない自分に毎日折り紙を持たせてくれました。小学校の入学式は母に手をつながれ、母の後ろからやっと校舎前を歩いている写真が残っていて懐かしさを感じます。様々な出来事や人との出会い、周りの方々の後押しで教師という職業に就き、今年度末で退職となります。子供たちの人生は始まったばかりです。いつ、どんなことによって人生が大きく動き出すか分かりません。失敗や挫折が心を強くし、人生の大きな転機になるかもしれません。日々我が子に接していると、心配なことや腹立たしく感じることも、時には他のお子さんとは比べてしまうこともあるかもしれません。子供たちは自分のペースで確実に歩みを進め、成長しています。お子さんと一緒に一年間の成長を喜び、今しかできない子育てを楽しんでほしいと願います。

今年度は創立150周年という学校にとって大きな節目の年となりました。学校は、次年度へと歩みを進めています。そうできるのは、子供たちのおかげ、保護者の皆様のおかげ、地域の皆様のおかげです。教職員一同感謝しております。来年度4月から、黒部市の小中学校はコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入します。学校だよりにもコミュニティ・スクールについての説明を掲載しています。村椿地区はありがたいことに、これまでも学校に対してとても協力的であり、三世代交流や味噌づくり体験、付き添い下校、挨拶運動等、子供たちのために喜んで力を貸してくださっています。現在ある協力体制をベースに、今後さらに、子供たちの豊かな成長と地域の活性化のために同じ方向を向いて取り組んでいけるのではないかと考えています。今後とも変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

アクションプランの結果より（概要）

今年度、本校で重点課題として取り組んだ「挨拶の推進」「家庭学習の充実」「生活習慣づくりの推進」における学校独自の達成目標（アクションプラン）の結果(概要)をお知らせします。

【アクションプラン 1 = 挨拶の推進】



☆達成目標

強調週間を設け、時と場に応じて気持ちのよい挨拶『**あ**いてを見て **い**つでも **さ**きに（自分から）**つ**たえる（場に応じた声の大きさで）』を1日5回以上できる児童の割合が全体の80%以上になることを目指す。

○達成度

- ・強調週間中の「時と場に応じて気持ちのよい挨拶ができた」について、達成率の全校平均は85.0%で、目標の80%を5ポイント上回りました。

○具体的な取組

- ・計画委員会を中心として、月・水・金曜日の朝に児童玄関であいさつ運動を行い、気持ちのよい挨拶をしている児童を「さわやかあいさつさん」として昼の放送で全校に知らせ、掲示板で氏名を紹介しました。今年度も氏名札を学年カラーにすることや児童発案の「あいさつカード」を実施したことで、学年としての挨拶の取組意欲が高まり、特に低学年のボランティア参加に効果が見られました。また、村椿更生保護女性部と一緒に行ったあいさつ運動や地区別に行った「さわやかあいさつ運動」では、いつもより張り切って元気に挨拶する児童の様子が見られました。
- ・心温まる言葉や行動を紹介したカードを児童玄関前の「あったか言葉の木」に掲示し、昼の放送で紹介する活動を今年度はパワーアップさせ、「毎月一人一枚あったかメッセージ」として実施しました。例年よりもたくさんのメッセージが掲示され、児童の意識向上につながりました。さらに、今年度は、毎月25日を「にこにこの日」として、計画委員会作成ののぼり旗を児童玄関に掲げ、意識の浸透を図りました。また、2月には「あったか家族大作戦」として、家庭での挨拶や言葉遣いについて振り返る活動を実施しました。
- ・「名水の里くろべ こどもの権利宣言」を全校で確認しました。また、11月には市人権擁護委員による人権教室、12月には計画委員会の企画運営で「人権集会」を行い、相手の気持ちを考えることの大切さについて全校で考えました。毎学期末には、児童と教職員が「人権意識振り返り表」による自己チェックを行い、自分の言動を振り返りました。
- ・毎月の「生活アンケート」と毎学期の「ふれあい週間（個人面接）」、年2回の「i-check」を実施したことで、児童の思いや悩みを早期に把握し、学級指導や個別対応

をすることができました。また、毎週木曜日に、生徒指導情報交換会を行い、全職員体制による生徒指導に努めました。

○次年度への課題

- ・学校では多くの児童が気持ちのよい挨拶をしていますが、保護者アンケートによると家庭や地域ではそうとも言えないという意見がありました。次年度は、これまでより一層、PTA や地域との連携を図り、具体的な取組を検討していきたいと思います。

【アクションプラン2 = 家庭学習の充実】



☆達成目標

強調週間を設け、目当ての時間(1・2年:20分、3・4年:40分、5・6年:60分)の家庭学習に取り組む児童の割合が全体の90%以上になることを目指す。

○達成度

- ・「できるようになったかな」チェック週間において、「宿題やわくスタノート、音読、読書等に取り組み、目当ての時間の家庭学習をした」(5日のうち4日以上が○だった)という項目について、達成率の全校平均は86.7%で、目標の90%を3.3ポイント下回りました。

○具体的な取組

- ・年度当初(4月)の学級懇談会において、「つばきッズ わくわくスタディ」という自主学習の仕方についてのお便りを保護者の皆様に配付し、話題にしました。また、児童には「わくわくスタディの手引き」を配付し、おすすめの内容について提示しました。
- ・毎日、担任がわくスタノートを点検し、丸を付ける、助言やコメントを記入する、シールを貼るなどして、児童を励ましたり賞賛したりしました。また、7冊達成した児童には、学校から賞状を授与することで、児童の意欲付けを図りました。
- ・1階廊下の掲示板に、模範となる自主学習ノートのページをコピーして掲示したり、学習参観の際にわくスタノート展を設定して、努力している児童のノートを展示したりしました。そうすることで、児童が参考にする機会となり、保護者への啓発にもなりました。
- ・学級では友達とノートを見合う機会を設け、友達のよい取組を参考にできるようにしました。また、授業の終末に、その日に学習したことを生かした自主学習の取り組み方について助言することで、内容の充実を図りました。
- ・毎週水曜日を「音読デー」とし、音読を習慣化することで、児童が進んで音読に取り組むようになりました。

○次年度への課題

- ・児童が目的意識をもって家庭学習に取り組むことができるよう、年度当初に全教

員で取り組ませ方や意欲付けの仕方について共通理解する必要があります。宿題と家庭学習のバランスを取りながら、全教職員が同じ考えで共通行動し、適切に働きかけていきたいと思えます。

【アクションプラン3＝生活習慣づくりの推進】



☆達成目標

曜日ごとに決めたチェック項目（爪、ハンカチ・ティッシュの携行、早寝早起き、歩いて登校、メディアコントロール、バランスのよい朝ごはん）のうち、メディアコントロールについて、自分の目当てを達成できる児童の割合が全体の85%以上になることを目指す。

○達成度

- ・「健康つばきッズ」調査の木曜日の項目（メディアコントロール）について、達成率の全校平均は87.3%で、目標の85%を2.3ポイント上回りました。

○具体的な取組

- ・昨年度から「メディアコントロール」に改め、今年度も「メディアコントロールチャレンジ」の取組を継続して行いました。各自が目標の時間を「60分以内」「30分以内」「0分」の範囲の中から選んで、目当てカードに記入し、廊下に掲示することで児童の意識を高めました。
- ・毎朝の健康観察の際に「健康つばきッズ」調査を行い、曜日ごとに決められた生活習慣のチェック項目について振り返っています。「メディアコントロール」については、木曜日の朝に調査を行い、その結果を保健委員会が昼の放送で伝えていきます。また、目当てを守れている児童にインタビューを行い、目当てを守るための工夫（タイマーを使う等）について尋ね、知らせました。
- ・2月、「健康つばきッズ」調査の結果を基に、学年別の結果と考察をまとめた保健だよりを作成しました。それを学級懇談会で保護者の皆様に配付して話題にすることで、家庭への理解と協力を呼びかけました。

○次年度への課題

- ・引き続き規則正しい生活習慣を身に付けるために、児童に具体的な取り組み方や生活習慣を整えることのメリットを伝えていきたいと思えます。
- ・「メディアコントロール」に関して、村椿小学校の約束、学年ごとに定めた目当ての就寝時刻や目安となるスクリーンタイムを保護者の皆様に伝え、学校と家庭が連携を図りながら取り組めるようにします。

今年度のアクションプランの結果を踏まえ、重点課題を見直し、来年度の達成目標を設定して、具体的な方策を考えていきます。

2月27日(火) 11:00より第2回学校評議員会を行いました。本校の学校運営状況や今後の教育活動等について、貴重なご意見をいただきました。

＜出席して下さった学校評議員の皆様＞

大上戸 久 雄 さん (村椿自治振興会長)
岡 島 茂 さん (村椿公民館長)
本 崎 洋 子 さん (総務省行政相談員)
得 能 久美子 さん (民生委員児童委員)
吉 田 由加里 さん (村椿保育所長)
中 村 勇 史 さん (村椿小学校 PTA 会長)



＜学校評議員の皆様からの主なご意見＞

- ・教員の超過勤務が気になる。児童が帰ってから自分たちの事務仕事が始まると聞いたが、時間外勤務時間は60時間は切っていただきたい。教員の心身に余裕があれば、子供たちにとっていい教育ができる。時間外勤務時間を少なくして頑張っていたきたい。
- ・交通立ち番をしていると、子供たちがきちんと挨拶してくれるのでうれしい。ただ、挨拶をすることが苦手な子供もいる。子供たちから声を掛けてもらえたら一番いいのかなと思う。
(学校) 恥ずかしがる子には、会釈だけでもいいよと伝えている。
- ・子供たちは、安心して声をかけていいと理解しているから挨拶をしてくれる。知らない人から声が掛かると、不審者だと思って怖がってしまう。こちらから気軽に声を掛けるのは難しいところである。
(学校) 自分を守ってくれる存在なのだから、安心して声を掛けていいと伝えていく。
- ・新型コロナウイルス感染症が第5類に引き下げられ、小学校と保育園、公民館との交流の機会が増えてきた。しかし、まだどこまで行えばいいか悩みながら進めている。保育園、公民館とも様々な行事やイベントを来年度も計画しており、ぜひ交流させてほしい。
- ・ヤングケアラーが県で問題になっている。本校に不登校の児童がいるが、本校にヤングケアラーはいるのか。もしあれば、連絡をお願いしたい。
(学校) 本校にはいません。
- ・六天、出島地区の朝の通学路を変えてくれてありがとうございます。また危ないところがあれば、おっしゃっていただければ、関係機関に働きかけていきたい。
- ・下校時、ふざけて遊んで帰る子がいる。歩道は安全だが、歩道から車道へ飛び出したら危ないので、絶対にしないように安全指導をお願いしたい。
- ・六天公民館前は、直線道路なので横断歩道を作ることができない。交差点以外はできないのが現状である。保護者の方に見守りをお願いできればいいと思っている。
- ・出島地区の子供は、バイパス西の十字路から登校してくるので、そこは早々に歩道がつくと思う。旗を置くところも準備していきたい。
- ・YKKからは、8:45まで通勤の車が多くならないようにすると聞いている。駐車場近くに新たに市道がつく予定なので、通勤路を考えてもらいたいと思っている。
- ・松澤さん、稲留さんに大変お世話になっている。他にも立っていただけの方がおられればいいのだが、YKKでは誘導員をつけることができないと断られた。毎日のことなのでなかなか難しいようである。

＜4月の主な行事予定＞

- | |
|--|
| 5日(金) 始業式(給食なし) 11:30下校、PTA全体委員会①19:00 |
| 8日(月) 2～6年給食開始、中学校入学式
入学式前日準備 1～4年 14:10下校、5、6年 15:00下校 |
| 9日(火) 入学式(給食なし) 11:30下校 |
| 15日(月) 教員研修のため 14:10下校 |
| 19日(金) 学習参観、学校説明会、PTA総会、学級懇談会 午後 |
| 26日(金) 1～4年 春の遠足 |

